

藤里町長選挙

佐々木文明氏4期目を無投票当選

任期満了に伴う藤里町長選挙が7月18日に告示され、現職の佐々木文明氏（66歳）以外に立候補の届け出がなく、無投票での4期目当選を果たしました。



【略歴】

昭和31年11月3日生まれ 能代高等学校卒業後、役場入り。農林商工課長、商工観光課長を経て、平成23年7月町長選に立候補し、初当選。県町村会理事・能代山本広域市町村圏組合理事・秋田県指定水防管理団体連合協議会理事・県道西目屋二ツ井線早期改良整備期成同盟会会長など

4期目を迎えた佐々木町長

就任にあたって

この度、町民の皆様方の絶大なるご支持、ご支援を賜りまして、四期目の町政を担わせていただくことになりました。これまでのご協力、ご指導に対しまして、衷心より厚くお礼を申し上げますと共に、再選に当たりまして皆様方にお示し申し上げました公約の実現に向けて、一つ一つ丁寧に対処して参りたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

先ずもっていち早く実行しなければならないことは、先月の豪雨災害により被災した箇所への復旧工事についてであります。農地に堆積、流入した土砂の撤去や、埋没・決壊した用排水路の修復、町道、林道等の復旧事業に着手して参りたいと考えております。

また、義務教育学校が4月から開校しており、これらのスムーズな運営にも注力しなければいけません。並行して、老朽化した幼稚園・保育園施設の統合を視野に、以前ご提言等をいただいた義務教育学校周辺への集積を検討し、学童保育につきましても同様に整備して行かなければならないと考えているところであります。

基幹産業であります農林業の振興につきましては、矢坂上野地区に造成しております土地改良事業により、サテライトメガ団地がいよいよ本格的にスタートすることとなります。この事業が円滑に進むことにより、当町の今後の農業振興も大きく飛躍することが期待されますので、官民あげての事業運営をサポートして参りたいと考えております。森林資源の有効活用については、各地区の分収林の満期による有利販売に加え、林地残材の有効活用を図る意味において、「木の駅」事業の一層の推進により、国土の保全と就業機会の増大につなげて参りたいと考えております。

四期目に特に力を注いで参りたいと考えておりますのは、医療環境の構築に向けた取り組みであります。現在民間の医療機関が週1日午前中の診療を行っていただいておりますが、このことに加えて、診療日を増やすことはできないか、或いは遠隔診療による町内での診察を可能とすることはできないか、また、医薬品等の入手を町内で完結できないかなど、関係機関の協力をいただきながら、特別の場合を除き、町内で診療等が出来る環境を整えて参りたいと考えております。

最後に、これら施策の着実な実践のためにも、様々な場面に対応・活躍できる「人づくり」にも並行して取り組んで行くことをお誓い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。